

人が集まる「人」をつくる、大学。



つむぐ、つながる、はばたく
SHIKOKU UNIVERSITY
1925 ▶ 2025 100th Anniversary

四国大学は、これまでの100年を礎に、これからの100年を創造します。

報道関係者 各位

令和6年4月23日

四国大学／四国大学短期大学部

学長 松重 和美

四国大学文学部日本文学科 石澤遙さん（岩手県盛岡市出身） 若手小説家の登竜門とされる文学賞で立て続けに入選

平素は本学の教育研究活動にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

四国大学（徳島県徳島市）文学部日本文学科4年に在籍する、岩手県盛岡市出身の石澤遙さん（21歳）が、若手小説家の登竜門とされる文学賞で立て続けに入選を果たし、令和6年4月20日（土）「三田文学新人賞」の授賞式に出席しました。



吉増剛造理事長と昨年度の評論部門受賞者石橋直樹より石澤遙さんへ、三田文学新人賞佳作の目録および花束の授与。



2024年3月6日に開催された第40回織田作之助賞授賞式において、芝井啓司関西大学理事長より織田作之助青春賞の賞状を授与される石澤遙さん。

石澤さんがこれまでに受賞した文学賞は、以下の通りです。

第19回「とくしま文学賞」小説部門・最優秀賞	／1年時
第40回「織田作之助青春賞」受賞	／3年時
第30回「三田文学新人賞」佳作	／4年時

高校時代から文芸部で作品執筆に熱心に取り組んでおり、大学進学後も本学において、思考力や想像力を磨き、言語表現を極め、意欲的に文芸創作に取り組み、上記のような輝かしい実績をあげられました。

【四国大学文学部日本文学科の紹介】

日本の言語、文学、歴史、文化を学び、専門的な研究方法を身につけることができる学科です。

文芸創作に関しては、基礎的な文章表現の習得に始まり、現代の小説を読み解き、文学理論や思想、哲学も視野に入れつつ文学作品の実作に取り組み、創造的な表現を作り上げることのできる学びがあります。石澤さん始め、複数の学生が文学賞受賞を果たしたことをきっかけに、これら文芸創作に関する学びを体系的に整理した新しいコース「文章表現・創作コース」を令和7年度入学生より日本文学科に新設、「日本文学コース」「日本文化史コース」と合わせて3コースの編成となります。

<本件に関する問合せ先>

四国大学 広報課

TEL: (088)665-9906